

国際交流員 アノンの あるわ

第15回
クリスマスと忘年会

のびのび まなび

10じかんめ
オーガニック給食を
実施します

サンバイン！アノンです。

12月と言えばクリスマスですね。元はキリストの誕生を祝う宗教的な日でしたが、現在では世界中で楽しまれているイベントです。皆さんはツリーの飾り、サンタへの手紙などで普段より忙しくなっていると思いますが、きっと楽しい気分だと信じています。私は、昨年の12月には一時帰国して、モンゴルの実家で楽しいクリスマスを過ごすことができました。今年は日本で子どもたちと過ごすクリスマスが楽しみです。考

う一つは忘年会。昨年、日本で体験した忘年会は職場の仲間とお店で食べたり飲

んだりして、普段の飲み会とあまり変わりませんでしたが、モンゴルではみんなスーツやドレスで着飾つて、12月にニューイヤーパーティーを開催します。例えると結婚式のようなイメージです。今年の忘年会は、パーティー風にして、もっと楽しくワクワク過ごせたらしいな。

皆さんもパーティーのような忘年会、試してみてください。メリークリスマス&ハッピーニューイヤー！ それでは、バヤルタガ。



伊豆中央警察署 署長

第30回 坪内 大輔 さん

伊豆中央警察署 署長



地域とともに

安全なまちづくりを

今年4月、伊豆中央警察署長に就任した坪内大輔さん。静岡市出身で伊豆半島の警察署勤務は3回目。現在は家族と離れて単身赴任中です。

「伊豆はおいしい食べ物がたくさんあるので、休日は一人で食べ歩きしています。これから時期はイチゴが楽しみですね」。

坪内さんが警察官を目指したのは、学生時代に起きた阪神淡路大震災やオウム真理教事件がきっかけ。「大きな震災や事件でも、人の役に立つ仕事がしたいと思いました」。

年末は、交通事故も発生しがちです。「車の運転手は早めのライト点灯、歩行者は反射材の着用などをお願いしています。事故を防ぐため、小さな心掛けが大事です」。

坪内さんに管轄地域である伊豆の国市や伊豆市の住民の印象を尋ねると、「穏やかで温かく、何より警察の仕事に協力的な人が多いです。この地域の皆さんと一緒に、地域の安全を作つていきたいです」。

人も犯罪も多様化する現代。頼りになる警察と、警察に頼られる地域が手を携えて、安全なまちづくりを進めたいですね。

問 廃棄物対策課 ☎ 0558(76)8001

収集	12月	~30日(月)	通常どおりのごみの収集
		31日(火)	ごみの収集はありません。
1月	1日(水・祝)	ごみ集積所へ	ごみを出さないでください。
	2日(木)	ごみを出さないでください。	
	3日(金)~	通常どおりのごみの収集	

持ち込み	12月	~27日(金)	市内ごみ施設持ち込み最終日
		28日(土)	クリーンセンターいらず持ち込み受付日*
1月	29日(日)	ごみの持ち込み受け付けはありません。	
	30日(月)	クリーンセンターいらず持ち込み最終日*	
	31日(火)	ごみの持ち込み受け付けはありません。	
	1日(水・祝)	ごみの持ち込み受け付けはありません。	
	2日(木)	ごみの持ち込み受け付けはありません。	
	3日(金)	ごみの持ち込み受け付けはありません。	
	4日(土)	クリーンセンターいらず持ち込み受付日*	
	5日(日)	市内ごみ施設持ち込み受付日(9時~12時)	
	6日(月)~	通常どおりの持ち込み受け付け	

*クリーンセンターいらず持ち込み受付時間：8時30分~12時

ごみの分け方出し方

VOLUME
57

◆大仁地区・12月5日(木)
◆長岡・華山地区・12月6日(金)

問 学校教育課 ☎ 055(948)1444



▲昨年度のオーガニック給食



▲大豆栽培の様子
大豆栽培ができるよう取り組みを進めています。

市は、9月30日に「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。この宣言により、環境負荷低減などの観点から有機農業の推進に取り組み、「食と農の循環システムの構築」を目指していきます。市内で有機栽培された農産物を用いた、オーガニック給食を実施します。

今回、主食のご飯は有機栽培された『にこまる』という品種を使用します。昨年度、初めてオーガニック給食を提供しましたが「甘い」「おいしい」ととても好評でした。さらに、長岡北小学校の児童が有機栽培した大豆を使って作られたみそも使用する予定です。

学校給食に取り入れていくためには、数量の確保や価格などの課題もありますが、子どもたちに、より多くのオーガニック給食が提供できるよう取り組みを進めています。

今後の取り組み

オーガニック給食



第30回

坪内 大輔 さん

伊豆中央警察署 署長

坪内さんが警察官を目指したのは、学生時代に起きた阪神淡路大震災やオウム真理教事件がきっかけ。「大きな震災や事件でも、人の役に立つ仕事がしたいと思いました」。

年末は、交通事故も発生しがちです。「車の運転手は早めのライト点灯、歩行者は反射材の着用などをお願いしています。事故を防ぐため、小さな心掛けが大事です」。

坪内さんに管轄地域である伊豆の国市や伊豆市の住民の印象を尋ねると、「穏やかで温かく、何より警察の仕事に協力的な人が多いです。この地域の皆さんと一緒に、地域の安全を作つていきたいです」。